



一般社団法人

ロゴス腹話術研究会

2020年12月17日

会報
第15号

わたしのお人形は「コンちゃん」。 ケンちゃんではありません。

かまどたつお

師匠のお人形の名前はケンちゃんです。ですから、多くの弟子たちは「ケンちゃん」を使っています。けれどもわたしは、お人形と出会う前から、名前を決めていました。ボクの相棒の名前は、「コンちゃん」にしよう。

「お人形が来たよ」と師匠から電話をいただき、新丸子教会に出かけていきました。けれどもなぜか師匠は不在。奥様が「わたしが選んでおいたから、この子を連れて行きなさい」。それが、わたしの相棒「コンちゃん」です。

ある時に、イチロー師匠に聞かれました。「なぜケンちゃんじゃなくて、コンちゃんなんだ」。理由はありましたが、明確には答えませんでした。

わかる人にはわかるでしょう。カキクケコ。ケのあとはコ。ケンちゃんのあとをお人形はぴったりくっついて離れない。自分も、師匠のあとにぴったりくっついて離れない。そんな決心の、「心」を込めて、「コンちゃん」にしたのです。



わたしと腹話術との出会いは、師匠の腹話術との出会いそのものです。1974年の春に、富山県の魚津教会の教会学校のお楽しみ会が魚津市の図書館で開かれて、そこに春風イチロー師匠が招かれたのでした。その時、師匠の前にステージに上がったのが、趣味で手品をしていたわたしです。魚津教会の牧師の挨拶があり、富山のロゴスのメンバーの腹話術があり、わたしが手品で入って、春風イチローの腹話術。全部で約90分。子どもたちが70~80人で大人が30人ほど。そんな会でした。

中学校1年生の時からステージ手品を始めていたわたしは、それなりに手品を披露する場所もあって、趣味としては十分すぎるほど、楽しんでいました。いくつかのトランプ手品をして、チャイナリングという、六つの輪をつないだり外したり、形を作ったりする手品を、最後の手品とする構成です。どこで笑いをとるのか、どこで驚いてもらうのか、どこで拍手をもらうのか。少し天狗になるほどの、お客様に受けるステージを形作っていました。あのときも、それなりに子どもたちに大にうけて、拍手をもらい、どうだい！という感じでステージを降りました。

そのあとは春風イチロー師匠の腹話術です。

わたしは腹話術というものを、あとき初めて見たわけではありません。

富山のロゴス腹話術研究会は、日本キリスト教団富山総曲輪教会（とやまそうがわきょうかい）の中に事務局があって、わたしはその教会の教会員でした。

教会学校のクリスマス会や夏の諸行事、イースターの愛餐会の時にも、教会員の方の出し物として、腹話術が演じられていました。

こう言っては申し訳ないのですが、面白くもなかったし、魅力的でもなかった。

あまり上手ではない腹話術の、おなじネタを、3人から聞かされるのは、みんなニコニコはしていたけれども、苦痛だったかもしれない。

だから、わたしの手品の方が、よっぽど人気があって、うけていました。

そもそも、毎回違う手品をしていましたからね。

だからです。

春風イチローの腹話術に、全く期待していなかったのです。

まあ、もう少し、上手なのかなあ…という感じです。

驚きました。

イチロー師匠は、登場する前から存在感がありました。

ケンちゃんと一緒に出てきます。

ただそれだけで、期待に満ちあふれる会場の一体感がありました。

いつもと同じネタなんです。

「ケンちゃん」

「なあに」

「あのね」

「うん」

たったこれだけの、いつもの会話がスタートします。

そこに、生き生きとしたケンちゃんと師匠の交流がありました。

笑ったり、楽しんだりすることもできないくらいの集中力で、そのステージを見つめていました。

お人形さんが生きている。

わたしが、プロの芸というものを、初めて生で見た驚きでした。

自分の手品が、あまりにもみずばらしく感じた瞬間だったのです。

すべてが終わったあと、師匠から師匠の控え室に来るように言われました。

わたしは、師匠の腹話術に感動したことを話しました。

師匠からは、「あの手品は、あまりにも下手だ」といわれました。

「富山総曲輪教会に帰ったら、手品を教える」と言われました。

事実、その日の夕方、富山総曲輪教会でロープの手品を5分間教えてもらいました。

そして同時に、お客様の前に立つ時の心構えを教えてもらいました。

それらは今も、実行しています。

そして最後に、

「君は、手品よりも腹話術が向いていると思う。やってみないか」と言われたのです。

次の年の1975年6月10日。釜土達雄は春風イチローの弟子となりました。

そしてその後時を経て「腹話術のかまどたつお」となるのです。

（日本基督教団 七尾教会牧師 釜土達雄）

キリストは
私を罪から
救い
腹話術の
私の人生は
また

（春風イチロー師匠）



（春風イチロー師匠）

2020年第9回ロゴス腹話術研究会 研修会・技術認定会・芸名披露感謝の会

日時 2020年11月23日
会場 グリーンパレス春日井
(勤労福祉会館)

研修 台本について

春風とんぼ



あなたの台本をぜひ作ってください。これまで何度も「鼎」の話をしました。私どもの腹話術の一番の中心は「台本」です。それに「演出」と「演技」と、この3つの柱があることです。私どもの腹話術の団体は、「ロゴス」と言います。ギリシャ語で「言葉」という意味です。人間の生活の成り立ちは言葉からです。その言葉を大事にします。

初心者：「ロゴスの腹話術」に、台本5つの約束を記しています。これも参考にしてくださいとうれしいです。

- ① ○は胸音、ひらがなと漢字、×は頭音でカタカナ。
- ② 破裂音に注意。
- ③ 頭音はC+Cと打音まで。
- ④ 発声練習は必ず反復交互に。○けんちゃん(胸音)、×ナーニ(頭音)、○あのね(胸音)、×ウン(頭音)。
- ⑤ 練習は鏡の前で。口パク防止、口の開きに注意、人形の打音注意。

稽古の手順 台本作りと人形操作

初級者：ステップ1：笑顔で入場、発声、胸音と頭音、9パタ

中級者：ステップ2：笑い、打音、まばたき

上級者：ステップ3：人形操作は、目線、「ま」4・0、マタイ・マルコ・ルカ・ヨハネの12の動き

技術認定講習

打音の時に口が動く場合があります。それは、一発で直ります。その方法は鏡を見るんです。すぐに直りますから直しましょう。

口を動かさない胸音では大きな口、頭音はにっこりチーズ。大きな口と小さな口のコントラストによって、観客は術者の口が動いていないと錯覚してくれるんです。これはロゴスの大きな特徴です。インパクトを与えますから、大きく笑ってください。

一番左側の観客から、一番右側の観客まで、180度の中で演技をすることが大事です。そして一番端の人と目を合わせて1~2秒止める。

そうすると、その子が「けんちゃん僕にお話ししてくれたんだよ」と言ってくれるに違いありません。戻りが早い人が多かったです。またお人形と見合ったら、目をしっかり合わせましょう。基本の9パタを繰り返して欲しいと思います。

合格者

※敬称略

1級 



平位佳子「桃太郎の交通安全」

2級 



林洋子「元気が出る五か条」

3級



大河原喜代美

深見さとみ

堀尾明子

春風たみ子 春風笑美子 芸名披露



今回残念ながら感染拡大のただ中にあり、参加を会場周辺の会員の方たちに絞らざるを得ず、また芸名披露もタイムリーにできず申し訳ないことでした。そんな制約の多い中、とんぼ先生の熱心なご指導、ご参加いただいた皆様の「ロゴスの心と技」向上への意欲、お心遣いに感謝いたします。互いに励ましあう良い会であったことをご報告いたします。

アメリカ南加キリスト教教会連合 マンザナ巡礼の旅

ロゴス腹話術研究会アメリカ会員 野田健一

南加キリスト教教会連合主催の「マンザナ巡礼の旅」に参加したので、それについて寄稿したいと思います。「マンザナ日系人強制収容所」はご存知ない方も多いかと思いますが、実は、ロゴス腹話術研究会にも関係のある人がいます。春風イチロー師匠の長女めぐみさん（私の姪）のご主人のご両親は、アメリカ生まれのため若き日に「マンザナ強制収容所」に収容されました。こんな話をすると皆さんも興味を持たれると思います。さて本題に入りましょう。

1941年12月日本軍の真珠湾攻撃により太平洋戦争が始まると、翌1942年2月、ルーズベルト大統領が大統領令を発し、西海岸に住む全ての日系人12万人は10か所の施設に強制収容されることになりました。収容に当たり家や土地などの財産、私財は放棄させられています。

11,000人が収容されたマンザナ強制収容所は、カルフォルニア州の砂漠の中にあります。鉄条網に囲まれ、機関銃を携えた兵士により8つの塔から24時間監視されていました。収容者の暴動が起きた時には、兵士により2人が射殺されたと言います。36のブロックから成り、それぞれのブロックには14のバラック小屋が建てられました。各バラック小屋には4家族が振り分けられ、家族の住居には、最高8人住むことができました。しかしトイレ、シャワーは共同で、仕切りもないため、風呂敷でお尻を隠して用を足したり、多くの人がトイレを我慢したため膀胱炎になるなど、不便を強いられたそうです。牧師や僧侶も収容されたので教会やお寺の活動があり、医者は医院を運営し、記者が新聞を発行するなど、施設内で各々が得意分野で職業に就いたそうです。庭師、看護師、料理人、美容院、消防士、銀行員、果樹園や畑を作る人もいました。

私は詩吟を40年以上やっており、現在アメリカ、カナダ、ブラジル国誠流詩吟連盟理事長をしています。先代宗家、荒国誠先生もこのマンザナに収容されていました。娯楽もない収容所で、先生が詩吟を人々に教えられたのがこの国誠流のはじまりです。つまりマンザナは発祥の地であり、昨年は75周年記念行事をしたこともあって、私はこの旅に特別の思いがありました。

マンザナバス旅行では博学の牧師が案内役で、大昔の地層、地震でできた湖、珍しい岩石など、バスを止めての解説や見学がありました。日本基督教団三軒茶屋教会（東京都）の引退牧師、陣内厚生先生もご一緒でした。先生は現在81歳ですが、23歳の若き日に37歳の野田市朗牧師（イチロー師匠）と志を共にして新潟県にキャラバン隊を立ち上げて伝道して歩いたそうです。こんなアメリカの地でイチロー師匠を知る牧師とお会い出来たこの奇遇。神様の粋なお計らいに感謝しました。

バスの中で2回礼拝を行い、皆で讃美歌を声高らかに歌い、語り合い、祈り合い、譲り合いながらの楽しいマンザナの旅でした。何か神様からの素敵なプレゼントを頂いた心温かな気持ちになりました。今日も神様から溢れるばかりのお恵みを頂き、生かされていることに感謝して、ロゴス腹話術研究会の皆様の上に豊かなお恵み、祝福が溢れるばかりにあります様にお祈り致します。

追伸：マンザナの写真です。収容3年半のうち20人近くが亡くなられたそうです。この慰霊碑の前で多くの方が追悼しておりました。



マンザナで亡くなった人の慰霊塔



当時のマンザナ強制収容所

野田健一さんはイチロー師匠の実弟で、カルフォルニア在住の調理師さん（引退）です。日本の料理を知らない米国生まれの子どもや親御さんにご馳走したり、料理教室を開いて、神様から頂いた賜物を活かして活躍されています。

新型コロナウイルスの中 ボランティア活動をおこなって

春風笑美子

一宮の3人（春風テッセル・須網幸子・春風笑美子）は、日頃近郊のデイサービスやおでかけ広場、保育園、児童クラブでボランティア活動をしています。

しかし、2020年3月以降は、新型コロナウイルスのため、ほとんどの施設、団体から予定されていた腹話術ボランティアがキャンセルとなりました。その中で1件8月21日午後からの児童クラブは、是非とも実施して欲しいとの依頼がありました。この施設は、いままでも夏休み、冬休み期間に4～5回ボランティア活動に行っていた所です。スタッフの方ともよく話をしていた間柄でした。それでも時期が時期だけに、お断りをした方が良いのではと悩んだりしました。

施設からは実施するに当たり、日頃行っているマスクの着用、手洗い、隣との距離を取り、換気を徹底していること。そして声を出すことを控え、拍手で対応するよう指導していき保護者への対応もし責任を持つと言われました。

この為実施することにし、3人で以下の点について気を付けることを共通確認しました。

- ① 施設への訪問退出時は、マスクを着けていること。
- ② 春日井ロゴス腹話術の会より、提供を受けたフェースシールドを付けて行うこと。
- ③ 人形にもフェースシールドを使用すること。
- ④ 子どもたちとは距離を取り、マイクを使用し術者・人形は大声を出さないこと。
- ⑤ 術者・人形は、子どもたちに質問を投げかけないよう注意する（子どもが話し出すのを防ぐ）
- ⑥ 歌や表現遊びは、子どもたちは歌わないで、表現の真似だけをするように働きかけること。

実施中、笑い声は上がったものの、拍手も多く真剣に話に聞き入ってくれました。子ども同士のおしゃべりは少なく、表現遊びは、楽しそうにリズムカルに体を動かしていました。そして、事前の約束どうり施設の窓を開け、扇風機も利用し換気がされていました。又座布団で座る位置を決め密にならないよう工夫もされていました。

実施後、施設のスタッフより「子どもたちは目を輝かせて面白かった、楽しかったと反応し、特に今回初めて腹話術を見た子たちは、どうして人形が一人で話をするのか、と不思議がっていた」と聞きました。夏休み最後のイベントで、少しでも心に残る思い出づくりに関わられたことを、嬉しく思いました。又、自分たちも久しぶりにボランティアをさせてもらい、元気ができました。

今回の経験を通して、施設のスタッフと予想される出来事を想定し、打ち合わせしていくことや状況により2部に分けて演じたり、演技者は1人あるいは2人にするなど、柔軟に考えることも今後必要かと思いました。次に依頼があった時は、対象者や周囲の状況に合わせた新型コロナウイルスの対策をしつつ、楽しい腹話術をおこなっていきたいと思います。



愛の電話

横井幸江

コロナ自粛も解除されたので、春風とんぼ先生に電話しようかな…と思っていたところ、先生から電話がありました。いつも私からかけようかなあ…と思っていると、先に越されてしまう…何でかな？

とんぼ先生の「コロナ自粛の間、何をしていたの？」に、「相変わらず、毎日忙しい日々を過ごしていました。」と答えました。「土曜、日曜は店の手伝い、火曜から金曜までは8時から12時までパート（家政婦）をやっています。ボランティアのある時は休んでも良い、気ままなパートです。コロナの間、ボランティア活動は10カ所くらいキャンセルになりました。ロゴスの仲間と会えないのが、こんなに寂しいとは思わなかったです。他の仲間も同じらしく、私の店に来てくれて、とてもうれしかったです。」

また「コロナ自粛の時に、ロゴスに関する何かした？」と聞かれ、ドッキリ。「毎日毎日、明るいうち畑仕事で野菜を植えたり、雑草を取ったりでクタクタの毎日です。我が家の人形コンちゃんは、居間に座って、じっと私をにらんでいます。『いつ抱っこしてくれるの？』と言わんばかりです。でも腹話術と畑の仕事に、共通する、活動する所がなくて自然に停滞しました。だから若松さんと二人で再開した時には、今度は絶対につぶさないように、ボランティア活動の場を広げようと頑張っていました。そんな時、とんぼ先生との電話の中で「二名おれば続けられるよ」と励まされ、力を得て今に至っています。先生からの時々の「愛の電話」、これからもよろしくお願いします。

腹話術と私

宮路ミヤ子

腹話術を始めて、約30年になります。

昔、保育園で、2歳児の子どもたちに見せたことがあります。なぜか人形が近づいただけで嫌がり、あいさつだけで終わりました。そしてやる気をなくし、人形は押し入れに入ってしまった。

仕事が、障害者の施設に変わってからは、誕生会、その他の行事の時に腹話術をやるようになりました。人形が出てくると、利用者さんの表現は色々ですが、手をたたいたり、手を差し出して抱こうとしたり、喜んでくれる人が増えてきました。人に話しかけられると後ろ向きになって聞けない人が、前に出て、じっと人形の顔を見て、ニコッとした時、感動しました。人形の力はすごい！！「かんだ君、元気？今どこにいるの？」と時々聞いてくる利用者さんもいて、人形を通して、心が通じ合うんだと思いました。

もっと勉強したいと思い、津島ロゴス研究会があることを知り、入れてもらいました。

初心者研修を受けることになり、その時初めて、春風とんぼ先生にお会いすることができました。経験を重ねる中、人の前で演じることの難しさを感じ、落ち込んだこともありました。

定年後は、仲間とボランティアに行けるようになりました。施設の人たちが喜んでくれて笑顔になると、「良かった！」と感動します。春日井の勉強会にも参加することができ、1か月に1度ですが、貴重な勉強の場となっています。仲間との交流も楽しみに出掛けています。

とんぼ先生は「基本が大事」と言われ、思い出してはいるのですが、難しいです。

コロナの自粛で家にいる時、詩集を読みました。「ほほえみ」

ほほえみ それは一文も
もとはかからない
しかしおどろくべきものを
人に与える

この詩を読み、そうだと思い、笑顔の練習を始めました。難しいと思っていますが、「笑顔」、「笑顔」と口に出し、朝、顔の運動からやって常に意識して続けてみたいです。

私の宝もの

佐藤初恵

4年前に夫が亡くなり、突然の環境変化に、何もかもが嫌で、すべて投げやりになっていました。そんな時、以前から親しくしていた友人（横井さん）が声をかけてくださったことがきっかけで、津島ロゴスの仲間入りとなりました。その数年前、保育士仲間「ルンルングループ」として手品を担当し、ボランティア活動をしたこともあり、活動の一員として誘っていただいたものです。その後、月1回の集会で、ボランティアの打ち合わせや腹話術の練習を重ねました。そして春日井の初心者コースで、春風とんぼ先生の指導を受けることができました。それを出発に月1回、とんぼ先生、他の先生方の勉強会に参加させていただくことができました。

この月1回の勉強会は、私にとって多くの希望が生まれ、少しずつ笑うことが出来るようになりました。回を重ねるごとに人と向き合い話すことができ、以前の自分に戻りつつあります。一年後、三級を受けることを希望し、とんぼ先生の熱意あるご指導をいただき、

合格することができました。私にとっては、最高の喜びでしたが、先生にとっては出来の悪い生徒ですね。

その後も会に参加することにより、少しずつではありますが、腹話術がいかに人の心を動かすか、私なりに考える様になり、自分と人形ヒデちゃんとのペアで活動することが楽しくなりました。津島ロゴスは10人の仲間がいます。その一人に加えていただき自分の道が見つかり、また活動することで、異なる年齢の子どもたち、シニア、老人施設の方々と共に、喜び笑いが生まれました。「また来てね」と言われるとうれしく感じます。人形を通じて、人と人とのすばらしい関わりができるんですね。

とんぼ先生との出会い、横井さんとの出会いがあってこそと感謝している私です。腹話術の技はまだ無限です。私のペースでは一生かかるでしょう。それでも続けていきたいです。私には、ロゴスの皆さんとパートナーのヒデちゃんは宝ものです。

大学での腹話術入門ワークショップ

昨年に引き続き、白梅学園大学子ども学部の1年生50余名を対象に春風テレサさんとウータンさんによる腹話術入門ワークショップを半日で行いました。今回は感染予防のため距離を取って講義形式の座席、マスク・フェイスシールド着用など配慮しました。ウータンさんと学生5人は遠隔参加でした。

前半は腹話術についてのお話、ボランティア活動の動画や模範演技の視聴、そして紙コップ人形の製作を行いました。後半は「イツ」の挑戦で、まず「森のくまさん」の替え歌で術者と人形が顔の向きを変えながら代わるがわるの歌い、9パタを自然に身に付けてもらいました。最後には数人の代表者に腹話術人形を使って「イツ」を皆の前で実演してもらいました。テレサさんの熱心な指導に、保育・幼児教育の仕事を目指している学生たちはとても積極的でした。教室の様子は室内のカメラから映写送信され、遠隔参加者とも共有されました。ウータンさんにも学生の声聞こえ、教室とのやり取りは円滑でした。



遠隔参加のウータンさんと教壇のテレサさん

終了後のアンケートの結果は良好で、昨年同様、95%以上の学生が「楽しかった」、92%がこの腹話術の経験が将来「役に立つ」と答えてくれました。役に立つ場としては、幼稚園、保育園、子どもと触れ合う時、遊んで楽しんでもらう時、などが挙がっています。将来子どもと関わる仕事を目指している学生だけあって、腹話術を子どもたちとのコミュニケーションツールとして意識し、「子どもが不安定な気持ちの時、人形を使って話しかけたい」など具体的なイメージを持つ人もいました。



学生の紙コップ人形

遠隔参加の学生も、「接続が良かったので声もよく聞こえ人形を作ることができた」、「腹話術の魅力が伝わり興味がわいた」など、教室にいた学生と遜色ない感想をくれました。これはひとえにオンラインの授業環境を整えてくださった大学の先生方のご尽力によるもので感謝でした。

腹話術の仲間を増やしたい当研究会としては、4割近くの参加学生が、「今後腹話術研修を受講したい」と答えてくれたにたいへん勇気づけられました。

テレサさん、ウータンさん、お疲れさまでした！

ホームページで 当会の会員の 腹話術が見られます！



師範の演技や会員の技術認定会で披露した腹話術などをアップしています。

今後は、会員向けのページを創設し、腹話術のレッスンをオンラインで学ぶことができるページをご用意する予定です。

皆様の腹話術の練習などに、ぜひ、ご活用ください。

事務局から

今年度最後の研修会につきましては、2月11日（祝日）午前を予定しています。状況の見極めも必要なため、詳細は別途お知らせいたします。

〈編集後記〉

新型コロナウイルスは、私たちの生活にたくさんの影響を及ぼしています。実際にお会いできないことはとても残念ですが、様々な機器やネット環境の発展でこれまでにない多くのことが可能になっています。当研究会のホームページもその一つで、近々会員向けに春風の模範演技や技術指導も動画として整えられる予定です。

ぜひこの機会に、ホームページをご活用いただけると幸いです。遠く離れた会員の方々が、それぞれの場において交流し、ロゴス腹話術を高め合えたら素晴らしいです。



（絵：春風赤とんぼさん）

〇年会費5000円、寄附をどうぞよろしくお願いたします。

【会費・寄付金振込先】（名義はともに、「一般社団法人ロゴス腹話術研究会」です）

ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127

ゆうちょ銀行：店名：〇二八（読み ゼロニハチ）店番：028 普通預金 8 8 5 9 0 5 2

発行：一般社団法人 ロゴス腹話術研究会 事務局
〒211-0005 神奈川県川崎市中原区新丸子町734-1
アベニオ新丸子ビル402号
TEL/FAX：044-733-6650
メールアドレス：harukaze@logos.or.jp
ホームページ：https://logos.or.jp